

## 令和2年度 児童生徒の体力・運動能力、運動習慣の現状等

### 1 令和2年度 児童生徒の体力・運動能力調査から見た地区の現状

項目	H30	R1	R2
体力テストにおける県平均を100としたときの体力の数値 (全国水準への引き上げ) ※地区実績は県との比較で記入	99.9%	99.8%	<b>97.5%</b>
1日の運動・スポーツ実施時間が1時間以上の児童生徒の割合	48.1%	49.9%	<b>43.6%</b>

### 2 種目別の状況(県平均100に対する地区の数値)

	握力	上体	長座	反復	シャトル	50m走	立ち幅	ボール投
R2	<b>98.4</b>	<b>99.3</b>	<b>99.8</b>	<b>95.4</b>	<b>98.4</b>	<b>95.5</b>	<b>93.5</b>	<b>100.0</b>
R1	100.2	101.6	97.8	98.8	100.4	99.8	100.0	99.6

### 3 Tスコアの学年別・男女別状況

男子	小2	小4	小5	小6	中1	中2	R2男
握力	<b>50.9</b>	49.9	49.3	49.1	48.3	48.3	<b>49.3</b>
上体起こし	<b>50.0</b>	<b>50.3</b>	<b>50.1</b>	48.8	49.6	49.6	<b>49.7</b>
長座体前屈	<b>51.8</b>	49.2	<b>50.6</b>	49.0	49.0	49.2	<b>49.8</b>
反復横跳び	<b>50.1</b>	51.4	47.3	46.7	47.4	46.2	<b>48.2</b>
20mシャトルラン	<b>50.2</b>	49.6	49.9	<b>50.6</b>	48.5	48.9	<b>49.6</b>
50m走	47.0	46.1	46.4	45.3	49.8	49.4	<b>47.3</b>
立ち幅跳び	44.8	47.2	45.6	48.4	47.6	48.3	<b>47.0</b>
ボール投げ	49.7	<b>50.4</b>	<b>50.2</b>	48.7	<b>51.0</b>	<b>51.6</b>	<b>50.3</b>
<b>学年別合計</b>	<b>49.3</b>	<b>49.3</b>	<b>48.7</b>	<b>48.3</b>	<b>48.9</b>	<b>48.9</b>	<b>48.9</b>

女子	小2	小4	小5	小6	中1	中2	R2女
握力	<b>50.4</b>	<b>51.6</b>	49.5	49.0	47.4	46.5	<b>49.1</b>
上体起こし	<b>50.0</b>	<b>50.9</b>	49.6	48.1	48.8	<b>50.1</b>	<b>49.6</b>
長座体前屈	<b>51.7</b>	<b>50.6</b>	<b>50.1</b>	<b>50.2</b>	48.9	48.7	<b>50.0</b>
反復横跳び	46.2	<b>51.6</b>	48.1	48.2	44.8	44.4	<b>47.2</b>
20mシャトルラン	49.2	48.9	49.8	48.3	48.4	48.0	<b>48.8</b>
50m走	46.4	47.1	46.2	48.4	<b>51.0</b>	49.6	<b>48.1</b>
立ち幅跳び	44.4	47.0	46.0	47.6	46.6	47.3	<b>46.5</b>
ボール投げ	<b>50.4</b>	<b>50.6</b>	<b>50.1</b>	48.1	49.1	49.8	<b>49.7</b>
<b>学年別合計</b>	<b>48.6</b>	<b>49.8</b>	<b>48.7</b>	<b>48.5</b>	<b>48.1</b>	<b>48.1</b>	<b>48.6</b>

※ 塗りつぶしは県平均値を超えている項目

### 4 1日の運動時間の実態(%)

		0分	1分～ 30分未満	30分以上～ 1時間未満	1時間以上～ 2時間未満	2時間以上
男子	地区	<b>7.7</b>	<b>18.3</b>	<b>23.1</b>	<b>26.6</b>	<b>24.4</b>
	県	7.2	17.1	20.3	27.3	28.1
女子	地区	<b>8.7</b>	<b>28.2</b>	<b>27.0</b>	<b>21.2</b>	<b>15.0</b>
	県	9.3	27.4	23.6	22.3	17.3

体力・運動能力に関して、長座体前屈は各校の「伸ばしてコロコロ」への意識的な取組等により、大幅な改善が見られた。しかし、反復横跳び、50m走、立ち幅跳びに大幅な記録の落ち込みが見られた。特に、立ち幅跳びについては男女全ての学年で県平均を大きく下回る状況もあり、瞬発力を高めるための具体的な手立てを地区全体で共有し、取り組んでいく必要がある。

運動習慣に関しては、男女ともに全ての項目で県平均と大きくは変わらないが、地区においては1時間未満の児童生徒の割合が県同様依然高く、また2時間以上運動する児童生徒の割合が県より低くなっている。家庭・地域と連携した運動習慣の確立が急務である。